



第28課 ディスカッション

■ 総合日语第二册





■ ポイント

- Vてくる／いく
- Vる／Nのたびに
- だけ
- ～ながら
- Nには及ばない
- Vるべきだ
- Nに加えて
- ペア練習：ディスカッション

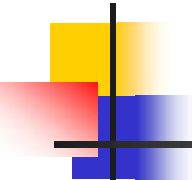
ユニット1

日本語の授業

新出単語:

- 心がける
- お話は心がけておきましょう。(你的话我将记在心上。)
- あなたのお気に入りそうな品を心がけておきます
- 。(我将留心会中您意的东西。)





「節電に心がける」と「節電を心がける」とでは、どちらが正しいのでしょうか。

A: どちらも正しい言い方です。ですが、「節電に心がける」のほうは支持しないという人が、少しずつ増えているようです。



- 犠牲
- クスリーン
- 発生
- 家屋
- 火災
- 起こる
- 予知
- 技術
- 進歩

予知 = 前兆をつかんで警告する
[prediction]

予測 = 過去データから推測する
[forecast]



東京大学地震研究所
地震予知
研究センター

Earthquake Prediction
Research Center

練習用単語

■ どんどん

■ 1. 不断

■ 意見をどんどん出す。(接二连三地发表意见。)

■ 金をどんどん使う。(一个劲儿地花钱。)

■ 物価はどんどん上がる。(物价一个劲儿地涨)

■ 2. 顺利

■ どんどん売れる。(非常畅销。)



■ 手段

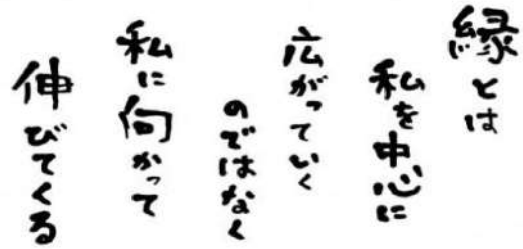
■ 減る

■ 変化



解説・文法

- 1. Vてくる/ていく
- 接続：27課てくる
- 動詞のて形
- 意味：
- てくる（从过去到现在的变化过程或状态的持续，译为～来；～起来；一直～）
- ていく（从现在到将来的变化过程或状态的持续，以及事物和现象的消失，译为～下去；继续～或不翻译。）
- だんだん/どんどん



縁とは
私を中心に
広がっていく
のではないかと
私に向かってくる

（横記号同無南）

1. 雨が降ってきた。(下起雨来了。)

■ 2. 疲れてきた。(疲倦起来。)

■ 3. 電車が込んできた。(电车拥挤起来。)

■ 4. だんだん暑くなってきた。(天变得越来越热。)

■

■





- 5. 暮らしていく。(活下去。)
- 6. やっていくうちに分る。(在继续做的过程中会明白的。)
- 7. 空が暗くなっていく。(天渐渐地暗起来。)

会話

日本語の授業

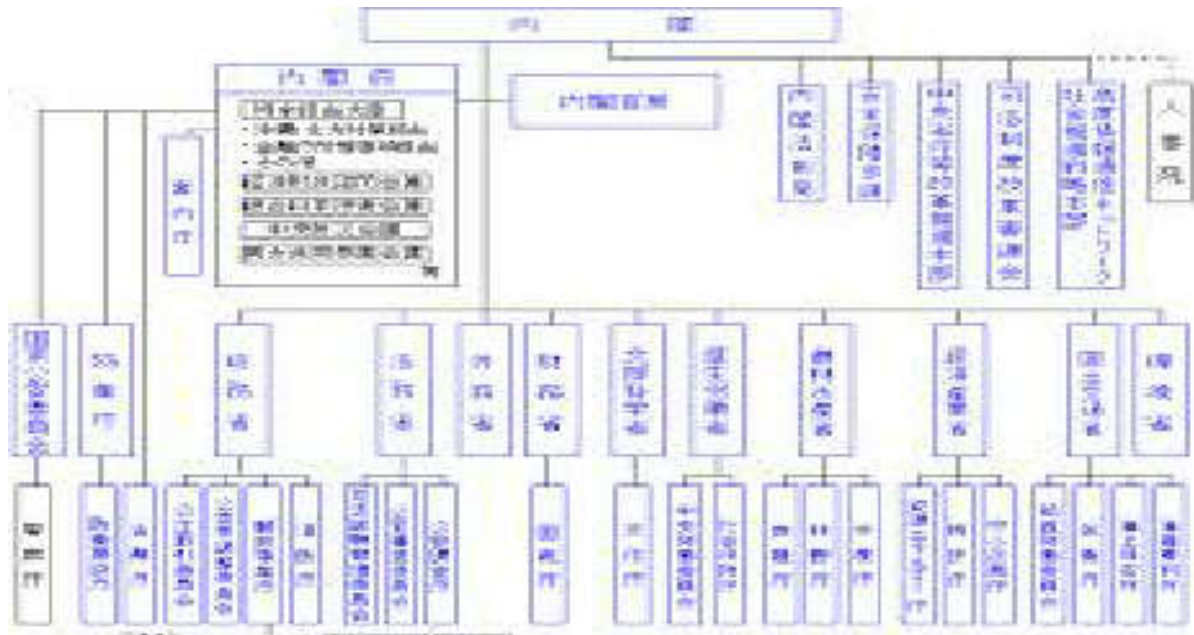
- 質問
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5





- ~多くの人々が犠牲になりました。(伤亡惨重。)
- 地震予知の技術はこれまで少しずつ進歩してきました。今後も、さらに進歩していきだろうと思
いますが、地震に備えて、まず、わたしたち一人一
人が日ごろから自分の身を守るように心がけるこ
とが必要だと思います。(平时就要有保护自己的
意识, 这是很有必要的。)

日本の国家機構



【注】各府省庁は平成25年7月現在、出典元は内閣府。平成25年7月現在、内閣府の組織は平成25年7月現在の組織に基づき記載されている。

ユニット2

新出単語

予測・予知・予定・予報

防ぐ

病気を防ぐ/予防疾病。

火を~/防火。

伝染(でんせん)を~/予防伝染。



- 応答
- 発言
- データ
- 分析
- 予測
- 講じる
- 賛成
- やはり



解説・文法

■ 1. Vる/Nにつれて

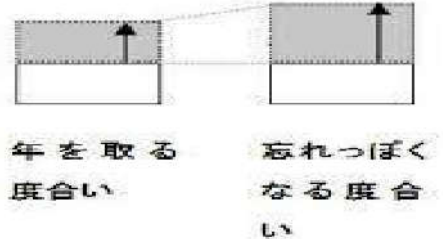
■ 接続：

動詞の基本形；サ変名詞

■ 意味：

随着某一事态或状况的变化和发展，相应的其它情况也随之发生变化或发展，可译为随着～；伴随着～；跟着～。

比例の as「～につれて」
・比例して別の事柄も進展するような状況



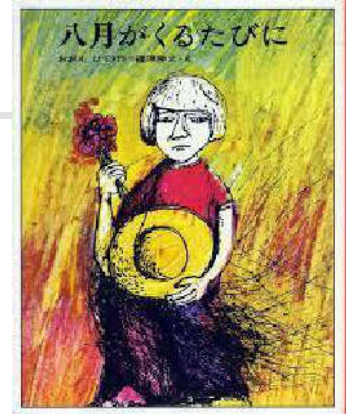


- 霧（きり）がはれてくるにつれて、あたりはあかるくなった。（随着雾散天晴，周围变得明亮起来。）
- 時が経（た）つにつれて、愛情が深まった。（随着时间的推移，爱情更加深厚。）

2. Vる/Nのたびに

- 接続：
動詞の基本形；名詞の
- 意味：

某种动作行为或现象反复发生，可译为每当～就；每～都。



- 彼は図書館へ行くたびに、必ず英語の本を一冊借りてくる。（每次去图书馆，他都会借来一本英语书。）
- 彼女は日曜日のたびに出かける。（她每个星期日都外出。）
- そのチームは試合のたびに強くなる。（那支球队赛一次强一次。）



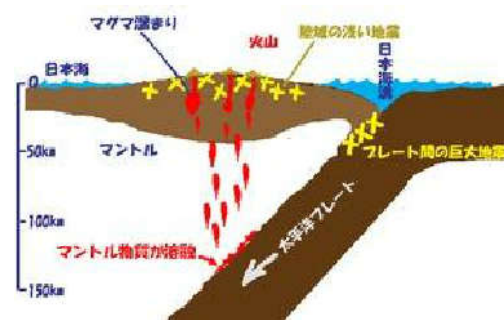
会話

クラスメートとの質疑応答

- 質問
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

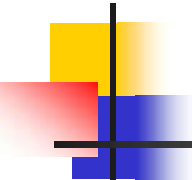


- 過去のデータの分析や地質調査が進むにつれて、地震が起きる可能性の高い地域はわかるようになったそうです。(随着地质勘测及对以往数据分析的进步,听说已经能够预测出地震发生可能性大的区域。)



- わたしたちは、大きな地震が起きるたびに、日ごろからもっと防災対策を講じておけばよかった(我们在平时做好防震准备就行了)と思うんですが、地震を防ぐことは不可能です。



- 
- 防ぐことはできなくても、地震の被害を少しでも小さくするための努力はできるんじゃないんでしょうか。(即便不能预防，但可以想方设法尽量使地震带来的危害程度降低呀！)

愛知県被災者生活支援情報ハンドブック

地震・災害に備えて

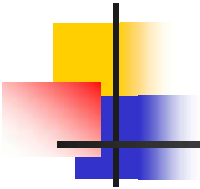
ユニット3 読解文

- 国際社会のコミュニケーションとITの進歩
- 南北新聞社説

- 新出単語
- 思い浮かべる:

- その映画を見てわたしは少年時代を思い浮かべた。(看到那部电影使我想起了童年时代。)





■ 新た

- 新たな任務/新的任務
- 新たにできた店/新建成的的铺子
- 人生の新たな出発/人生的重新开始
- また新たに始める/又重新开始

新たな3本の矢と首相発言のポイント

新たな3本の矢(目標)

- ① 希望を生み出す強い経済
GDP600兆円
- ② 夢を紡ぐ子育て支援
出生率1.8
- ③ 安心につながる社会保障
介護離職ゼロ

首相発言のポイント

- アベノミクスは第2ステージ
- 「1億総活躍」プランを作成
- 50年後も人口1億人維持
- テフレ脱却は目の前
- 17年4月の消費増税は予定通り
- 内閣改造・党役員人事は骨格維持





- **どれほど(どんなに)**

- どれほど高くても買う/无论多么贵也买。
- どれほどつらかったか分らない/不知有多么难过。
- どれほど言っても聞かない/怎么说也不听。





解説・文法

2.～ながら(逆接関係) Vていながら

- 25課 一边…一边…
- 接続:
- 動詞のます形の連用形/名詞/一類形容詞の基本形(い)/二類形容詞の語幹
- 意味:
- 逆接関係



ご注意ください!

-
- 注意していながら間違えた。/虽然注意，但弄错了。
 - 狭いながら楽しい我が家。/虽然狭小却很快乐的我的家。
 - いやいやながら引き受けた。/勉勉强强接受下来。

- 3. Nに及ばない
- 及ぶ → 及ばない
- 接続:

名詞

意味:

～不及～ ; ～比不过～ ; ～赶不上～



- 検査では何も異常(いじょう)は見つかりませんでした。すっかり元気になりましたから、ご心配には及びません。/在检查中未发现任何异常。已经完全康复了，请不要担心。





- Nの足元にも及ばない
- それには及ばない/不必那样
- A: 車でお宅までお送りしましょう。/我用车送您到家吧。
- B: いいえ、それには及びません。歩いてても5分ほどの所ですから、どうぞご心配なく。/不，不用了。走路五分钟就到了，所以请不必费心了。

- 4. Vるべきだ<義務> 肯定
- Vるべきではない 否定

- 接続:

動詞の基本形/す/する

意味:

应当～ ; 应该～ ; 必须～





悪いと思ったらすぐ謝るべきだ。/认为不对
就应该马上道歉。

ぼくはこちらを買うべきだと思う。/我认为
买这个合适。

- 人の悪口を言うべきではない。/不应该说
人坏话。



- 5. Nに加えて〈累加〉

- 接続:

名詞

意味:

～加之～；～除了～以外



- 過労に加えて心臓病も再発したので、と

うとう倒れてしまった。/由于过度劳累，加上心脏病复发，终于倒下了。

大雪(おおゆき)に加えて風まで吹いてきた。
/风雨交加。



頭痛(ずつう)に加えてめまいもするので、

仕方(しかた)なく仕事をやめた。/头疼加上
头晕, 只好放弃了工作。

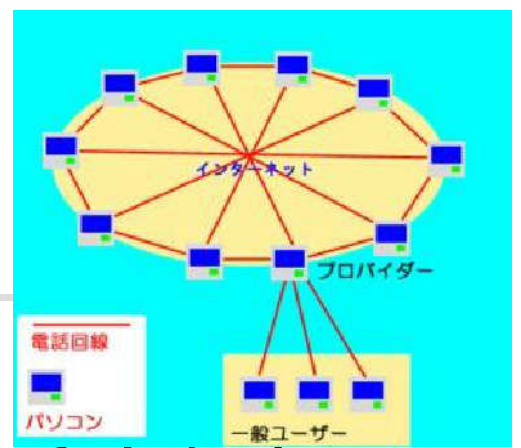
この子は音楽の才能に加えて、絵の才能も豊かだ。

ユニット3 読解文

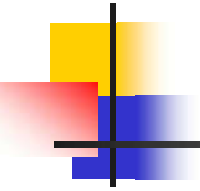
- 国際社会のコミュニケーションとITの進歩
- 質問

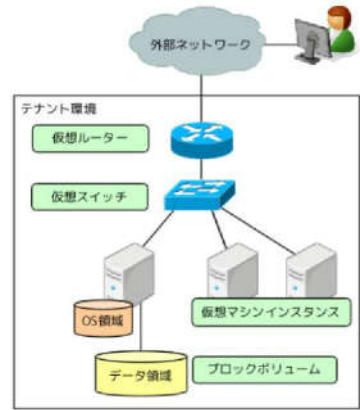
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5





- インターネットを通して、私たちは、いつでもどこにいても必要な情報を必要なだけ地球上のどこからでもリアルタイムで入手できるようになった。
- 通过因特网，我们无论在何时何地都可以在第一时间按需要量的多少从地球上的某一地方获取所需信息。

- 
-
- 最後一段：
 - しかし、仮想体験はそれがどれほど本物に近い経験であっても、実体験には及ばない。真の意味で遠い国を近い国にするには、私たちは、実際の物理的空間を、時間をかけて移動し、その国あるいは社会を自分の目で見、耳で聞き、実際に体験すべきだ。インターネット上の仮想体験は、本物の体験を超えることはない。

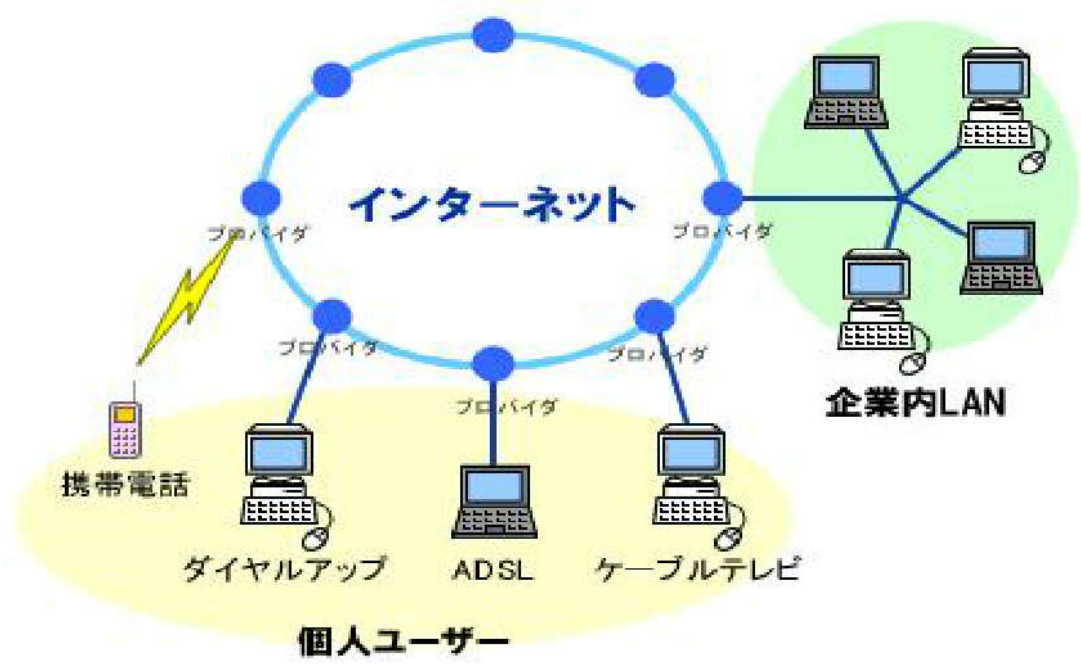


- 仮想体験：
どれほど本物に近い経験である。

実体験：本物の体験



実際の物理的空間を、時間をかけて移動し、その国あるいは社会を自分の目で見、耳で聞き、実際に体験すること。



インターネット ネットワーク構成イメージ図

